

## 第04回 I B I Cスペシャルセミナー

地方から全国へ ～地域資源は宝の原石～

講師 四国地域活性化支援事務局 統括プロジェクトマネージャー 三井 文博 氏

- 【日時】平成20年06月20日(金) 18:30～
- 【主催】今治地域地場産業振興センター
- 【参加費】無料
- 【開催地】じばさんセンター 4階 第1研修センター
- 【参加者】41名

今回は大手広告代理店の四国支店長であり、(独)中小企業基盤整備機構が開設した地域支援事務局のジェネラルマネージャーも務める三井文博氏をお迎えしました。

三井氏は、地域資源、地域の特性などの強みを生かした成功事例として、香川県小豆島のオリーブ園「井上誠耕園」、予約が取れないほど人気がある島宿「真里」の事例などを紹介しました。

### 《 オリーブ園 “井上誠耕園” 》

小豆島でオリーブ園を経営している井上誠耕園。販売の主力の一つはオリーブの化粧品である。オペレーターを教育しながらコールセンターを作り、商品開発をしている。『オリーブの里親制度』というユニークな取り組みもしている。5万円の費用をもらい10年を間に渡ってオリーブの木にプレートをかける。里親には毎年、島の便りと産品を届けているというもの。

単なる「売る」だけでなく、オリーブを通じて小豆島の空気と情熱を共有している。『島を楽しんでほしい』、知ってほしいという気持ちからだ。

### 《 島宿 “真里” 》

予約が取れないくらい流行っている『真里』という旅館。ここでは徹底した『One to Oneのコミュニケーション』を実践している。

この旅館は以前、「一泊7千円」の民宿だった。ある日、宿泊客の子供が『ここに本当に泊まるの?』と話したのを主人の馬渡康之氏が聞いてしまった。真里を再生させようと集まった仲間とともに考えたのは『実家に帰られるような感じ』を与えるということ。おしゃれではないがくつろげるというコンセプトである。

「島」だからこそあるものがある。島は都会のサラリーマンにはないものを持っている。こうしたことを島民と観光客が共有して価値の連鎖を作っていくことである。



### Profile/三井 文博 (みつひ・ふみひろ)

- ・香川県出身、在住。
- ・大阪芸術大学環境計画学科卒。
- ・帰省後、地元のランドスケープ設計の事務所に勤務。
- ・その後、広告業界に転じ、現職に至る。
- ・1991年より、香川県まちづくり研究会にて、高松中心市街活性化基本計画、香川県中小売商業化マスタープラン作成など参加。
- ・2006年より、経済産業省から委託を受けた中小起業基盤整備機構が地域支援事務局を開設し、ジェネラルマネージャーとして招聘された。
- ・地域資源を活用した、新商品・新サービスの開発、販売等に取組み中小企業者の相談に乗り、ノウハウ面を強化する為のアドバイス、適切なキーパーソンの紹介など、きめ細やかな支援(ハンズオン支援)を行っている。

